

# 水稻・麦・大豆栽培情報 4月号

平成28年 4月 1日  
J A 柳 川  
南筑後普及指導センター

## 【小麦】

### 1 生育概況

気温が生育期間を通して平年より高い日が多かったため、麦の生育は平年より進んでいます。

出穂期は平年より早く、11月20日播種では「シロガネコムギ」で4月2日頃、「ミナミノカオリ」で4月7日頃と予想されます。

### 2 赤かび病防除

◎ 防除適期は、開花期（出穂後7～10日）です。

※出穂期は、ほ場全体の40～50%の茎が出穂した日になります。

【防除の目安】（小麦11月20日播種の場合）

品種名	防除適期	薬剤名及び10a当たり使用量	使用回数	使用時期
シロガネコムギ	4/9～4/12頃	トップジンM粉剤DL 4kg 又は トップジンM水和剤 1,000倍/100ℓ	出穂期以降は2回以内	収穫14日前まで
ミナミノカオリ	4/14～4/17頃			

※防除適期は今後の気温で変動することがあります。

※粉剤は散布後5～6時間内に降雨にあうと効果が低下します。週間天気予報等を参考にしながら早めの準備を心がけ、条件のよい日に散布して下さい。

### 3 「ミナミノカオリ」の穂揃期追肥

麦粒中のタンパク質含有率の向上のため、必ず実施してください。

施用時期は赤かび病防除と同時期（穂揃期～穂揃期後7日後）に、**硫酸を15kg/10a**施用してください。尿素の葉面散布の場合は、開花期と開花期後7日後頃の2回実施します。

（3.5kg/100ℓ /10a×2回で硫酸15kg/10aに相当します。）

### 4 周辺作物への農薬の飛散防止

隣接ほ場に他作物が作付されている場合、農薬がかからないように風向きや風の強さに十分注意して下さい。

農作業安全確認運動

慣れと油断が招く農作業事故